

中学地理プリント（過去問類似）

アジア州

名前

得点

/8

問1 本初子午線が通る地域から、赤道の北側に広がる低緯度・中緯度地域までを含み、アフリカ大陸の北東側に位置する地球上で最大の大陸を何といますか。 (2026年 岐阜公立入試 類似)

1. ユーラシア大陸 2. 北アメリカ大陸 3. 南アメリカ大陸 4. 南極大陸

問2 西アジア地域の自然環境や産業の特色について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2016年 鹿児島県公立入試 類似)

1. 季節風（モンスーン）の影響を強く受けるため、年間を通じて降水量が多く、古くから稲作が盛んである。
2. 大部分が乾燥帯に属して砂漠や草原が広がっており、石油などのエネルギー資源が豊富に産出される。
3. 北極点に近い高緯度地域であるため、一年中氷に覆われた寒冷な気候を利用した水産業が中心である。
4. 多くの島々からなる地域であり、熱帯雨林気候を活かした天然ゴムやバナナのプランテーション農業が行われている。

問3 アジアの諸地域のうち、タイ、インドネシア、ベトナムなどの国々が含まれる地域に該当するものを次の中から選びなさい。

(2021年 大分県公立入試 類似)

1. 東南アジア 2. 南アジア 3. 中央アジア 4. 東アジア

問4 ある国の経済指標について、国内総生産（GDP）は世界第2位の規模（約12兆ドル）を誇りますが、一人あたり国内総生産で見ると約8000ドルという水準に留まっています。この数値が示す、この国の経済的特徴として正しいものはどれですか。

(2022年 福岡県公立入試 類似)

1. 膨大な人口を抱えているため、国全体の経済規模は非常に大きいですが、国民一人あたりの平均的な豊かさは発展途上の段階にある。
2. 極端な少子高齢化によって生産年齢人口が急減しており、国全体の経済規模に対して労働者の生産性が著しく低下している。
3. 経済活動のほとんどを自給的な農業が占めており、国際市場での工業製品の取引が一人あたりの所得に反映されていない。
4. 特定の希少金属の輸出のみに依存するモノカルチャー経済であるため、国際価格の変動によって一人あたりの所得が安定していない。

問5 アジア地域で見られる、季節によって吹く方向がほぼ反対になる風を何といますか。1月には大陸から海洋へ向かって北東の風が吹き、7月には海洋から大陸へ向かって南西の風が吹くことで、地域の降水量や農業に大きな影響を与えるものを答えなさい。 (2019年 奈良公立入試 類似)

1. 季節風（モンスーン） 2. 偏西風 3. 貿易風 4. 海陸風

問6 タイなどの東南アジア大陸部の諸国では、オレンジ色の袈裟（けさ）をまとった僧侶が、修行の一環として人々の家を回って食料などの寄付を受ける光景が日常的に見られます。この宗教の名称として正しいものはどれですか。 (2017年 鳥取公立入試 類似)

1. 仏教 2. イスラム教 3. ヒンドゥー教 4. キリスト教

問7 東南アジアや南アジアで見られる季節風（モンスーン）について、夏季における風の向きと、それが地域の気候に与える影響を正しく説明したものはどれですか。 (2024年 群馬公立入試 類似)

1. 海から陸に向かって吹き、湿った空気を運ぶため、多くの降水をもたらす雨季の原因となる
2. 陸から海に向かって吹き、乾燥した空気を運ぶため、雨の少ない乾季の原因となる
3. 北極や南極などの高緯度地域から赤道に向かって吹き、年間を通じて地域の気温を大幅に低下させる
4. 中緯度地帯の上空を一年中西から東に向かって吹き、天気を西から東へと周期的に変化させる

問8 インドの輸出構成に関する2019年時点の説明として、その背景や特徴を正しく述べているものはどれですか。 (2023年 岩手県公立入試 類似)

1. 輸出上位にダイヤモンドや医薬品などの工業製品が含まれており、産業の高度化が進んでいる。
2. 輸出額の大部分を原油が占めており、特定の地下資源に依存するモノカルチャー経済となっている。
3. 衣服や履物などの軽工業製品が輸出の大部分を占め、安価な労働力を武器にした輸出構造である。
4. 輸出の9割以上がパソコンやスマートフォンなどの通信機器に限定されており、品目が偏っている。

答え合わせ・解説

問1	答え 1 ユーラシア大陸	アフリカ大陸の東側に広がるこの大陸は、西端で本初子午線が通るヨーロッパを含み、東側には広大な面積を持つアジア州が広がっています。太平洋、インド洋、北極海という三つの大洋に面していることも、この大陸の巨大さを示す特徴です。
問2	答え 2 大部分が乾燥帯に属して砂漠や草原が広がっており、石油などのエネルギー資源が豊富に産出される。	西アジアの大部分は降水量が少ない乾燥帯であり、オアシス農業や遊牧が伝統的に行われてきました。また、ペルシャ湾沿岸を中心に世界の原油埋蔵量の多くが集中しており、石油の輸出は地域経済において極めて重要な役割を果たしています。
問3	答え 1 東南アジア	タイやベトナムはアジア大陸の南東部に位置し、インドネシアは数多くの島々で構成される国家です。これらの国々は、地域の経済発展や安定を目指し、ASEAN（東南アジア諸国連合）を組織して協力関係を築いています。
問4	答え 1 膨大な人口を抱えているため、国全体の経済規模は非常に大きいですが、国民一人あたりの平均的な豊かさは発展途上の段階にある。	中国は、輸出構造の変化や産業の高度化によって世界第2位の国内総生産を実現しましたが、14億人を超える膨大な人口を持つため、一人あたりに換算すると先進国（日本や欧米諸国）に比べてまだ低い水準にあります。このように、経済の「総量」と「個人あたりの水準」に大きな開きがあるのが中国の経済的特徴です。
問5	答え 1 季節風（モンスーン）	大陸と海洋の比熱（温まりやすさと冷めやすさ）の違いによって生じる風で、アジアの気候を特徴づける最大の要因です。1月には冷え込みやすい大陸から比較的暖かい海洋へ、7月には暖まりやすい大陸に向かって湿った海洋から風が吹き込みます。この風向きの変化が、地域に雨季と乾季をもたらします。
問6	答え 1 仏教	タイやミャンマーなどの東南アジア大陸部の国々では、古くから仏教が深く信仰されています。僧侶が信者の家を回って食料などをいただく「托鉢（たくはつ）」は、首都バンコクのような近代的な都市部でも見られる特徴的な文化です。世界の宗教別人口構成比を見ると、キリスト教（約33%）、イスラム教（約23%）、ヒンドゥー教（約13%）に次いで、仏教は約7%を占めています。
問7	答え 1 海から陸に向かって吹き、湿った空気を運ぶため、多くの降水をもたらす雨季の原因となる	アジアのモンスーン地帯では、夏になるとインド洋などの海から温まった大陸に向かって季節風が吹きます。この風は海上の湿った空気を大量に運び込むため、この時期は降水量の多い雨季となります。選択肢にある「西から東に向かって吹く風」は偏西風の説明であり、季節によって向きが変わる季節風とは異なります。
問8	答え 1 輸出上位にダイヤモンドや医薬品などの工業製品が含まれており、産業の高度化が進んでいる。	インドの輸出は、かつての茶や綿花といった一次産品中心の構成から、ダイヤモンドの切断・研磨などの加工業や、世界的にシェアを伸ばしている医薬品産業などの第2次・第3次産業を背景とした構成に変化しています。石油製品の輸出も上位に入っていますが、これは原油を輸入して精製してから輸出する中継貿易的な側面もあり、単なる資源輸出国のサウジアラビアなどとは構造が異なります。